

くくくくく

【第54号】
昭和37年3月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤 善次郎
編集人 鈴木 美一
印刷所 宇佐美印刷所

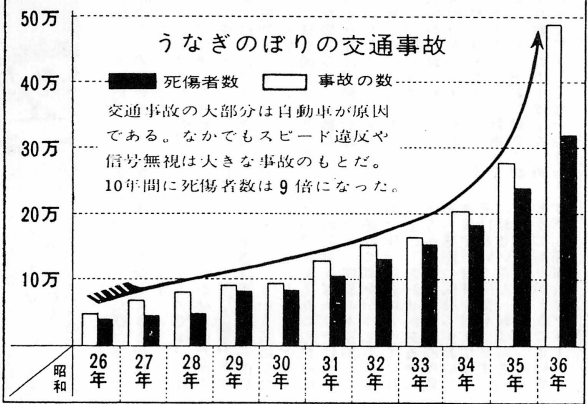
37年度に着工する 本線の複線化本決まり

本線の複線化本決まり

丸森線着工などのP.C.が大きいので、せつかく電化した東北本線の複線化が影をひびく。事の次第では、本線のローカル化などの悲観説さえ出ている。二月八日付け公文をもって日本国有鉄道盛岡工務局長より土地立入についての通知が入ったことは回覧でお知らせしたとおりである。これは藤田 貝田駅間の現在線（約五〇〇〇）に於てついでにヤクコウノメホネンダツツで測量又は調査のため土地立入をする。期間は本年二月二十日から三十八年十二月三十一日までと定まっている。これで行われれば町民多年の宿願である東北本線の複線化が実現するわけで、永年地

注意は一とき けがは一生

全国的に激増しつつある交通事故に対し、警察の取り締まりや一時的な安全運動の実施のみでは、もはやこれではおさまることはできない。有様である。事故の原因について検討するに、運転者の過失もさるゝが、一般歩行者の不注意によるものも少なくない。注意して、わが町から交通事故が一掃しようではありませぬか。



注意によるものも少なくない。注意して、わが町から交通事故が一掃しようではありませぬか。

断をするものがある。若い人はよくこれを讀んできかせて下さい。

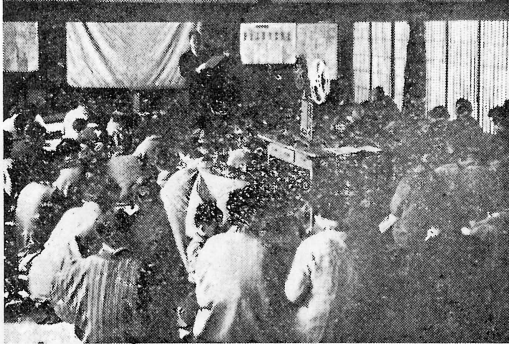
一、歩行者
二、自動車
三、自動車とバイク
四、スピードを出し過ぎないで、安全運転に心がけましょう。

断をするものがある。若い人はよくこれを讀んできかせて下さい。

断をするものがある。若い人はよくこれを讀んできかせて下さい。

断をするものがある。若い人はよくこれを讀んできかせて下さい。

断をするものがある。若い人はよくこれを讀んできかせて下さい。



子供に負けない勉強を

国見町婦人学級連絡協議会では、町の公民館と連合婦人会の後援のもとに、町内の婦人学級やグループの学習を奨めるための研究会を開いた。三月四日藤田小学校禮法室に集まった八十余名の婦人たちは、午前九時半から先ず例に於て映画「結婚の条件」(三巻)を見て話し合い、午後は福島市立一中学校通達藤田先生「グループ学習のすすめ方」についてのお話を聞いた。

婦人学級研究会開く

二十一年先を目ざして教育をうけている子供たちの話し相手になり、これをまっすぐに伸ばしてやるには、よほど新しい勉強をしなければならぬ。しかし、一日中雑事に追われれば、ならぬ主婦や若妻たちは、中央に集って勉強する余裕もなければ、自分の家で勉強するひまもない。そこで隣近所の人たちが仲間をつくり、月ごとに一回集って話し合うのがグループ学習である。ささやかなこのグループ学習を奨励することによって、考える力工夫し計画し、実行する力がなっていくことを実例をあげながら面白く説明されたので、これまで婦人学級をやっていた人も、まだやっていない人も、よく理解し、よいしやるぞという勇氣と自信が湧いたようである。



ポンプ百より用心一つ

福島県下昭和三十六年火災統計が「消防新聞」に載せられていたので、感想二三述べてご参考供します。

火災統計
三月四月が火災発生数のヤマ
五月 火災件数 損害高
六月 八六 六、七九二
七月 九七 六、七九二
八月 一〇六 六、七九二
九月 一三二 六、七九二

今年も大いに話し合う
小坂地区農青連(会長仲野周一郎君)では毎年町政懇談会を開いて、新しい町づくりについて町当局と話し合いをする。今年も去る二月二十七日午後一時より、小坂農協会館において、五十名名相会し、役員並びに小坂地区出身の町会議員、農業者と大いに語り合った。とり上げられた問題は、農業基本法による国見町のあり方について、農村に残る子弟の教育は、農村に於けるべきか、わが町の社会教育は現行の三点でいいのか。

今年も大いに話し合う
小坂地区農青連(会長仲野周一郎君)では毎年町政懇談会を開いて、新しい町づくりについて町当局と話し合いをする。今年も去る二月二十七日午後一時より、小坂農協会館において、五十名名相会し、役員並びに小坂地区出身の町会議員、農業者と大いに語り合った。とり上げられた問題は、農業基本法による国見町のあり方について、農村に残る子弟の教育は、農村に於けるべきか、わが町の社会教育は現行の三点でいいのか。

今年も大いに話し合う
小坂地区農青連(会長仲野周一郎君)では毎年町政懇談会を開いて、新しい町づくりについて町当局と話し合いをする。今年も去る二月二十七日午後一時より、小坂農協会館において、五十名名相会し、役員並びに小坂地区出身の町会議員、農業者と大いに語り合った。とり上げられた問題は、農業基本法による国見町のあり方について、農村に残る子弟の教育は、農村に於けるべきか、わが町の社会教育は現行の三点でいいのか。

今年も大いに話し合う
小坂地区農青連(会長仲野周一郎君)では毎年町政懇談会を開いて、新しい町づくりについて町当局と話し合いをする。今年も去る二月二十七日午後一時より、小坂農協会館において、五十名名相会し、役員並びに小坂地区出身の町会議員、農業者と大いに語り合った。とり上げられた問題は、農業基本法による国見町のあり方について、農村に残る子弟の教育は、農村に於けるべきか、わが町の社会教育は現行の三点でいいのか。

昭和36年度馬鈴薯 国見町一位の作り方のあらまし

住 所 大宇徳江字親郷5番地
氏 名 穴戸 新五郎 (56才)
収 入 10アール当り 3,894kg (1,038/ア)

- 品種 男しやく
- 種子の予措 緑化を3週間先行 5月17日播種
- 栽植距離 75cm×36cm (2尺5寸×1尺2寸) 坪当り12株
- 施肥量 (10アール当り)

| 種類 | 硫 | 安 | 過 | 石 | 塩 | 化 | 粗 | 下 | 堆 |
|-----|------------------|------|------|-------|---------|---------|---|---|---|
| 施用量 | 40kg | 40kg | 24kg | 480kg | 4,000kg | 4,800kg | | | |
| 時期 | 基肥25kg 追肥15kg | 基肥 | | | | | | | |

※堆肥は整地前に全面撒布 粗がら堆肥は播きみぞに施用
下肥は播種後3週間目に施す 硫安の追肥は ①1回、芽出し直前 ②2回、①1回の3週間後

- 培 土 2回
①1回 芽出し前の硫安の追肥後
②2回 ②2回硫安の追肥後、何れも3cmの厚さに培土
- 病虫害防除 5回
①1回 本葉2枚 ホリドール1,500倍液 (てんとうむしだまし)
②2回 本葉5-6枚 ()
③3回 着蕾期 石灰ボルドー液 (疫 病)
④4回 開花期 ()
⑤5回 開花1週間後 ()
- 改善の要点 1、良い種いもを選び緑化したこと 2、早くまいたこと 3、粗がら堆肥を使ったこと

